

教育民生 常任委員会所管事務調査

調査日程

11月13日

調査先

- ひよこの家—高根沢町
- レインボーハウス—那須烏山市

教育民生常任委員会

委員長 橋本 操

ひよこの家

教育民生常任委員会では、11月13日、高根沢町にあるフリースペース「ひよこの家」と那須烏山市の適応指導教室「レインボーハウス」を調査いたしました。

両施設とも町、市が運営する施設で不登校あるいは不登校傾向にある児童生徒の指導援助を目的としています。

ひよこの家は、農家住宅を借り上げたもので、現在15人程度の児童生徒が通所しており、子供たちは思い思いの場所で本を読んだり作業をしたりしています。

特徴的なことは、表面的な学校への復帰を目的とせず、学習意欲、社会性の向上を図りつつ、基本的に子供自身の自主性を重んじていることでした。

レインボーハウス

レインボーハウスは、現在14人程度が通所しています。当町からの利用者もあり、町でも負担をしています。

旧児童館を利用してはいますが、那珂川の近くにあり、川の環境を活用した活動などに利点があるものの、水害の懸念や施設の老朽化もあって、移設先を検討していることでした。

ここでの指導目標は、学校生活への適応を図るということであ



民家を改築して活用



子どもたちは自由に勉強

り、高根沢町のひよこの家とは対照的でありました。どちらにしても、学校に行くことのできない子供たちが、「自分の居場所」と感じられるような環境が必要であるとともに、そのための環境をどのように作り上げるか、子供にはいろいろな特性があり、これという答えがないのが実情と思われまます。

また、引きこもる子供をいかにこのような環境の中に足を向けさせるか、そして、進路指導とその後フォローという活動も大切なことであると感じました。